

みなと社会見学ツアー

鬼崎南小学校2年生「空港沖埋立事業と海上工事で働く人たち」について学ぶ

実施報告

NPO伊勢湾フォーラム

1. 日時及び参加者について

令和7年9月24日(火)8:15~12:50 【2年生58名 職員3名 全体61名】

2. 行程について

時間	行程	手段
8:30	鬼崎南小学校 お迎え、出発	バス
9:00	セントレア旅客船ターミナル（津エアポートライン）さん橋 到着、出港	船
9:45	セントレア旅客船ターミナル（津エアポートライン）さん橋 到着	
10:00	環境工作（東横イン会議室）	
11:30	東横イン 出発	
11:50	鬼崎南小学校 到着	バス

3. 見学コースについて



※鬼崎南小学校の位置と見学コース

4. 報告内容について

今回初めての案内及び見ツアーの紹介となる、鬼崎南小学校の皆さん。学校を早い時間に出ていますが、子供たちは期待で満ちた顔でバスを降車してきました。住んでいるまちの近くに、このような大きな海上工事が行われている、セントレア沖の土砂処分場建設現場を初めての見学です。外周護岸が海面上まで立ち上がってきた土砂処分場建設現場を船上から見学となり、多くの作業船が活躍している姿や、海面から見える部分が構造物の一部との説明を聞き護岸のスケールの大きさに驚いていました。また、現場までの船上から、セントレアに離着陸する飛行機を間近に見て歓声が上がるなど、船に乗るのが初めてという子供たちもいて、船の上からは、子どもたちが住んでいる自然豊かな地元の海に触れ、スナメリも生息していることも驚き、波の様子に「スナメリ見つけた!」という児童がいるくらい、出会うことを楽しみにしていたようです。海側から住んでいるまちを眺めることもなかなかできないこと等有意義な体験となりました。下船後室内会場へ移動し、「あのひとに会いたい」というコーナーでは、海上の現場で働く大人たちへの質問をたくさん考えて質問を用意してきました。つづいて、環境工作「海からの贈りもの」として、貝がらを使った「フォトフレームづくり」を体験しました。探求学習として、まず子供たちに、完成した「貝がらフォトフレーム」を実際に手に取り、どんな貝をどこにつけたらいいのか等を考えました。それぞれ貝の種類がたくさん入った配布袋を楽しそうに開け、ボンドを使いながら器用に貝がらをつけていきます。個性豊かな貝の装飾に私たちおとなは圧倒されました。また、早く完成できた子供たちのために、「ロープワーク」も開催し、結び方やほどこき方も楽しそうに体験していました。最後には、『愛知産ヒノキ間伐材で作られた「定規」』と『海を守るために作られた「レジ袋」』を持ち帰り、「海を守る」ための「森づくり」という循環環境の大切さ、身近な海で進められている大きな工事現場を学び、学校で振り返り、また家族に今回の出来事を話し振り返ってくれることと思います。

5. 状況写真



● 桟橋に到着の子どもたち



● 期待しながら乗り込む



● 船内での説明



● 現場を見る様子



● 環境工作教室



● 子供たちの個性があふれる工作

みなと社会見学ツアー

鬼崎南小学校2年生「空港沖埋立事業と海上工事で働く人たち」について学ぶ

実施報告

NPO伊勢湾フォーラム

1. 日時及び参加者について

令和7年9月26日(金)8:15~12:50 【2年生59名 職員2名 全体61名】

2. 行程について

時間	行程	手段
8:30	鬼崎南小学校 お迎え、出発	バス
9:00	セントレア旅客船ターミナル（津エアポートライン）さん橋 到着、出港	船
9:45	セントレア旅客船ターミナル（津エアポートライン）さん橋 到着	
10:00	環境工作（東横イン会議室）	
11:30	東横イン 出発	
11:50	鬼崎南小学校 到着	バス

3. 見学コースについて



※鬼崎南小学校の位置と見学コース

4. 報告内容について

先日続き、分散で見学をする鬼崎南小学校の皆さん。学校を早い時間に出ていますが、子供たちは期待で元気いっぱい満ちた顔でバスを降車してきました。住んでいるまちの近くに、このような大きな海上工事が行われている、セントレア沖の土砂処分場建設現場を初めて見学です。外周護岸が海面上まで立ち上がった土砂処分場建設現場を船上から見学。多くの作業船が活躍している姿や、海面から見える部分が構造物の一部との説明を聞き護岸のスケールの大きさに驚いていました。また、現場までの船上から、セントレアに離着陸する飛行機を間近に見て歓声が上がるなど、船に乗るのが初めてという子供たちもいて、船の上からは、子どもたちが住んでいる自然豊かな地元の海に触れ、スナメリも生息していることも驚き、この組の子どもたちの先日と同じように波の様子に「スナメリ見つけた!」という児童が多かったです。それだけ出会うことを楽しみにしていたようです。下船後室内会場へ移動し、先日と同じコーナーとなる「あのひとに会いたい」では、子どもたちが聞きたいことをたくさん考え、「海の工事の大変さや工事の工夫、どんな機械を使っているか」等おとな顔負けの質問をしていました。つづいて、「海からの贈りもの」として、貝がらを使った「フォトフレームづくり」を体験です。探求学習として、まず子供たちに、完成した「貝がらフォトフレーム」を実際に手に取り、どんな貝をどこにつけたらいいのか等を考えてもらい、早速それぞれ貝の種類がたくさん入った配布袋を楽しそうに開け、ボンドを使いながら器用に貝がらをつけていきます。貝がらの特徴を生かした装飾に私たちおとなは圧倒されました。また、早く完成できた子供たちのために、「ロープワーク」も開催し、結び方やほどき方も楽しそうに体験していました。最後には、『愛知産ヒノキ間伐材で作られた「定規」』と『海を守るために作られた「レジ袋」』を持ち帰り、「海を守る」ための「森づくり」という循環環境の大切さ、身近な海で進められている大きな工事現場を学び、学校で振り返り、また家族に今回の出来事を話し振り返ってくれることと思います。

5. 状況写真



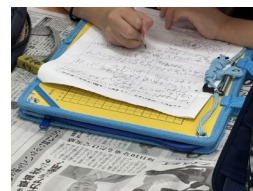
● 桟橋に到着の子どもたち



● 船内での説明



● 「あのひとに会いたい」コーナー



● 環境工作教室



● 工作の様子



● ロープワークの様子